

2024年(令和6年)1月10日(水曜日)

電波新聞



春日 社長

当社の業績は2022年度(23年3月期)は過去最高だったが、23年度は減収減益の見込み。工業機器市場の在庫調整が想定より長引いているが、自動化関連の市場は、生産現場改善やEV関連、生成AI関連での半導体製造装置需要などにより今後も拡大が期待できる。こうした分野でのビジネスを中長期で拡大していきたい。

24年度は現中期経営計画(3カ年)の最終

欧米の売上比率アップで世界に貢献

ケル 春日 明社長

場」を加えた5市場と伝送への開発も進め、NTTグループの「コネクタ」製造での外観検査を自動化できる外観AI検査機を開発中だ。24年度第1四半期(4～6月)の稼働を予定している。段々を通じて当社ブランドの認知度向上と新規顧客発掘も目指す。

通信機器市場向けは5Gや遠隔医療、自動運転などに貢献する高検討する。

速伝送対応コネクタを中心に拡販を推進。新エネルギー市場向けは大容量バッテリーやめ、高速・多極の車載も検討中だ。開発業務は大容量バッテリーやめ、高速・多極の車載も検討中だ。開発業務

年度。中計では商品群増強を推進し、5Gや新エネルギー市場を開拓することを重点方針に掲げている。注力市場は、従来の4市場(工業機器、画像機器、車載機器、医療機器)に「5G・通信市

度。中計では商品群増強を推進し、5Gや新エネルギー市場を開拓することを重点方針に掲げている。注力市場は、従来の4市場(工業機器、画像機器、車載機器、医療機器)に「5G・通信市

度。中計では商品群増強を推進し、5Gや新エネルギー市場を開拓することを重点方針に掲げている。注力市場は、従来の4市場(工業機器、画像機器、車載機器、医療機器)に「5G・通信市

度。中計では商品群増強を推進し、5Gや新エネルギー市場を開拓することを重点方針に掲げている。注力市場は、従来の4市場(工業機器、画像機器、車載機器、医療機器)に「5G・通信市

度。中計では商品群増強を推進し、5Gや新エネルギー市場を開拓することを重点方針に掲げている。注力市場は、従来の4市場(工業機器、画像機器、車載機器、医療機器)に「5G・通信市